水産物の  
輸出を目指す

企業様！!

http://seafood-export.jp/images/topimg.png **水産物・水産加工品輸出拡大協議会**

**～水産物輸出拡大に向けて　in　台湾～**

**日本産水産物の輸出をめざす企業様の海外商談会への参加募集！**

**水産物・水産加工品輸出拡大協議会は、台湾で開催する『プロのための「日本の水産関連食品」試食商談会』へ参加される国内の水産物加工事業者等を募集します。**

1. 出展対象企業  
   日本産水産物の輸出を目指す水産物生産・加工事業者と国内水産関連メーカー・商社等  
   募集企業数：１０社
2. 出品対象商材  
   日本国内で生産、製造された魚介類、水産加工品  
   ※但し、台湾の輸入規制により輸入ができない商材につきましては、大変申し訳ございませんが今回の出品対象となりません。商材次第では証明書の提示で輸入許可が降りる場合もございますので、ご相談ください。現在の台湾の日本産食品輸入規制措置

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 地域 | 品目 | | 規制内容 |
| 5県（福島、茨城、栃木、群馬、千葉） | 全ての食品 | | 輸入停止 |
| 42都道府県 （上記5県以外） |  | 全ての食品 | 以下のいずれかにて発行された最終加工地の産地証明書を提出。  (1)政府(地方公共団体を含む) (植物検疫証明書、自由販売証明書、衛生証明書等も可)  (2)政府が授権した機関(商工会議所等)  (3)業者等が公的機関に確認を受ける |
|  | 水産物、海藻類 | 台湾にて全ロット検査 |
|  | 加工食品 | 台湾にてサンプル検査 |
| 岩手､宮城､東京､愛媛 | 水産物 | | 以下検査機関が発行する放射能性物質検査報告書  (1)中央主管機関が公表  (2)その他日本の政府の認証  (3)国際認証機関の認証 ※また、検疫時魚の放射能検査サンプリングが行われます。検査内容は、商品より200gを採取されます。 (基本的には尾の部分から切り落とされ収集されます。) |

※上記以外以外にも、活魚の鱧や商品の添付ダレ（加工地）など輸出ができない商材もございます。

1. ニーズの高い日本産水産品について  
   事前に台湾にて参加予定者よりヒアリングした内容です。出店商品のご参考にして下さい。  
   これ以外の商品にはニーズがないということでは決してありません。  
   ●刺身系：品質が高く、鮮度が良いマグロ。但し高価すぎるマグロはNG（現在の台湾でのマグロは高価すぎるため）また、カジキマグロも人気、脂身のあるものが良い。  
   冷凍と生のホタテ、ブリとハマチ、甘エビ、魚卵、ウニ、シマアジ、生牡蠣  
   ●練り物：もともと台湾にもあるので練り物は好きだが食感を楽しめる物が特に良い  
   ・もちもちっとした食感が好き  
   ・台湾のすり身はカタクリが多いのでふわっと仕上がるすり身ベースが欲しい  
   ●焼き物・加工品など  
   ・鯛、さば、アジ、きんきなどは人気。今も日本から入って（主に築地、北海道、九州）来ているが、比較検討ができるほどの種類はない。もっとブランドや産地が見える魚を仕入れたい。魚種が増えると良い。  
   ・アナゴが品質と値段に合うものが入ってこない。  
   ・塩気の多いものあまり好まない、甘め、薄めが好き（蒲焼うなぎなど人気）  
   ・白子、タラ  
   ・蟹　身のしっかりした大きい蟹を好む（生冷のむき身なども）  
   ・加工魚より原料の方が良いというニーズが多い（自社で漬魚などをしているため）  
   ●仕入れのポイント、安全性　品質（新鮮）　価格　　の順番  
   ●キーワード　　北海道、京都、九州、健康志向  
   ●メディアが多く、信憑性も高い記事を書くライターも多いので情報発信がしやすい。  
   そのため、話題性が作れるような商品（旬、価格、日本で流行しているもの）やプチ贅沢な商品などが欲しい。高くても物凄く良いものであれば使うが、すでに５人に１人が日本に行っており、本物思考であること、また日本での価格を知っていることもあり、中途半端な商品や高すぎる商品は買わない傾向がある。  
   ●新しいものは使い方なども一緒に紹介して欲しい。  
   ●日本からの商品はロットが大きすぎる、旬の情報が届かない、産地との連絡先が明確でないなど課題あり。●台湾で収穫が困難な海産品は人気がある。
2. 開催日時、場所　(詳細は後述)  
   日時：2018年2月26日（月）　１３：３０～１６：３０  
   場所：「えんEN和食‧酒　SOGO復興店」  
   ＜住所＞　No.300, Sec. 3, Zhongxiao E. Rd., Da'an Dist, Sogo Fuxing B2, Taipei 106, Taiwan  
   　　　　　 (106 台湾台北忠孝東路三段300號太平洋SOGO百貨復興館B2)
3. 来場予定者  
   台湾に店舗、事務所（事業所含む）を持つ事業者。  
   飲食店、ホテル、スーパー、食品卸・サプライヤー、商社、フード・レストラン情報誌出版社、  
   メディアなど。（一般消費者は対象外です。プロのための商談会として実施します）  
   ※日系企業のみではなく、現地法人、外資企業も対象として集客をいたします。
4. 補助金申請  
   本商談会に出展される企業様に対し出展に際して掛かる費用の一部の補助を行います。  
     
   **補助の対象費目**：旅費、交通費、宿泊費、サンプル食材費、輸送費などの実費の１／２  
   ※１　助成対象期間：本試食商談会、及びこれに前後して独自に個別商談をする期間を含む  
   　　　（最長10日間）  
   ※２　補助対象は１社２名まで（加工事業者、商社等複数名での助成も可）  
   ※３　助成上限は１名３０万円（２名の場合は併せて６０万円まで）。  
   　　　（航空券と宿泊ホテルのツアーパッケージも準備可能ですのでお問い合わせ下さい。） **費用補助申請方法**：  
   商談計画を作成し、本協議会へ出展申請をお願いいたします。  
   商談会実施後は、商談件数、成約見込等の成果を記載した商談会報告書を添付して、  
   協議会まで助成金をご請求ください。（別紙、計画書様式、請求書様式をご利用ください。）
5. 問い合わせ先  
   　　水産物・水産加工品輸出拡大協議会（一般社団法人大日本水産会内）  
   　　住所　107‐0052　東京都港区赤坂1－9－13　三会堂ビル８F  
   　　Tel：03-3585-3585光冨、浅川、今野、　　E-Mail：[mitsutomi@suisankai.or.jp](mailto:mitsutomi@suisankai.or.jp)

[konno@suisankai.or.jp](mailto:konno@suisankai.or.jp)

1. 申込時提出書類  
   ・商談計画書  
   ・試食商談会エントリーシート（別添の入力シートに沿って必要事項をご記載ください。）
2. 申し込み締切

　　２０１７年１２月２９日（金）  
 ※応募者多数の場合、計画内容を協議会で審査して決定いたします。

**■プロのための「日本の水産関連食品」試食商談会 in 台湾 概要**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 開催日時 | **2018年2月26日（月） 13:30PM 〜 16:30PM  (受付12:30PM開始)** | ../../../../Desktop/image-1.png |
| 会場 | **「えんEN和食‧酒　SOGO復興店」 住所：**No.300, Sec. 3, Zhongxiao E. Rd., Da'an Dist, Sogo Fuxing B2, Taipei 106, Taiwan  (106 台湾台北忠孝東路三段300號太平洋SOGO百貨復興館B2) |

**【イベントの概要】**

1. イベント実施の流れ  
   前半　＜開会・セミナー＞　13:30PM～14:20PM

* 開会のご挨拶
* 繁盛店メニュー開発セミナー（メニュー開発の背景、メニューヒント、調理法を得れる）
* 試食商談会に関する商品セミナー（本日の商品、試食メニューの紹介）

後半　＜試食・商談タイム＞　　14:20PM～16:30PM

* 各社出展ブース（テーブル）での商品試食・商談会 〜　閉会

1. 出展者：日本国内の水産物生産・加工事業者と、国内水産関連メーカー・商社
2. 来場者：台湾に店舗、事務所（事業所含む）を持つ事業者  
   飲食店、ホテル、スーパー、卸・サプライヤー、商社、フード・レストラン出版社、メディアなど。  
   ※日系企業のみではなく、現地法人、外資企業も対象として集客をいたします。

来場予定者：  
・BYOグループ：和食を基本とした飲食店を多数、駅ビルやショッピングセンターなどに出店している。台湾でも６店舗展開中。  
・ホテル：Regent Hotel、hotel royal-nikko taipei、The Okura Prestige TAIPEI  
・卸、商社：台湾麒麟、駿伸企業、富帆貿易、台湾三菱商事  
・飲食店：梅村、中華日式料理協会、菊元、Old Charles Catering Consultants、金太など  
他にも台湾で活躍している事業者に多数声をかけてまいります。来場者は、30社-40社、50名以上参加の予定をしております。

|  |
| --- |
| ※2017年9月27日に香港で第1回目の試食商談会を開催いたしました。その結果、出展者、来場者からの評価もあり、今回、台湾での試食商談会を開催することが決定いたしました。出展者の８割の企業が次回も香港や他国で開催があれば参加したいという反応でした。また、来場者の半数以上が試食商談会に対し、また商品に対して「満足している」とういう結果でした。 |